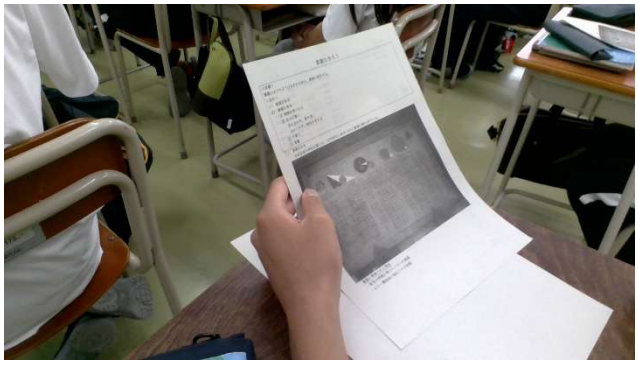
古典と数学が出会う瞬間
― 生徒が挑んだ算額制作 ―



本校では、学力向上の取り組みの一環として教科横断型の授業を進めています。

古典で江戸時代の和算文化「算額」に触れ、資料を読み取りながら当時の文化や背景を理解した生徒たちは、その学びを数学へとつなぎ、問題を自ら選んで解法を考え、実際に算額の制作に取り組みました。

答え合わせや書き直しを行いながら、分かりやすい形にまとめ、清書して仕上げる過程を通じて、生徒たちは「言葉」と「数」のつながりを体験的に学びました。

この活動は、古典と数学をつなぐ橋渡しとなる取組みであり、生徒の主体的な探究心を引き出す貴重な機会となりました。